

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E132M004		家庭科授業研究(中等) (Studies in Teaching of Home Making (Junior High School))															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	4	教育学部 平成31年度以前入学生 用			氏名 財津 庸子 E-mail yzaitso@oita-u.ac.jp 内線 7601											
授業の概要	中学校・高等学校家庭科の授業づくりについて、家庭科授業研究(中等)をふまえ、さらに実践力を高めるために、アメリカの家庭科教科書を比較検討することによって、教材研究の幅を広げ、とは違うテーマで授業実践研究を行う。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 家庭科授業研究をふまえ、中学校・高等学校家庭科の授業づくりを構想する。																	
目標2 アメリカの家庭科教科書との比較検討をふまえた教材研究をする。																	
目標3 開発した教材による模擬授業を行い、スキルアップする。																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 家庭科授業研究(中等)の成果と課題の確認																	
2 小中高の家庭科の内容の関連・系統性についての確認																	
3 アメリカの家庭科教科書内容の理解1(家族・家庭生活に関する内容)																	
4 アメリカの家庭科教科書内容の理解2(自分の成長・子どもの発達に関する内容)																	
5 アメリカの家庭科教科書内容の理解3(衣生活に関する内容)																	
6 アメリカの家庭科教科書内容の理解4(食生活に関する内容)																	
7 アメリカの家庭科教科書内容の理解5(住生活に関する内容)																	
8 アメリカの家庭科教科書内容の理解5(消費生活に関する内容)																	
9 個人テーマに基づく教材開発1																	
10 個人テーマに基づく教材開発2																	
11 模擬授業1																	
12 模擬授業2(可能であれば協力校での授業実践)																	
13 模擬授業の検証																	
14 教材および指導案の改善案作成																	
15 全体のふりかえりとまとめ																	
ラック ニテ ンイ グ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	日米教科書の比較分析、意見交換・相互評価、教材開発・作成、指導案作成、模擬授業					工 夫 そ の 他 の										
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修(15h) 事後学修(15h)	中学校・高等学校の家庭科教科書・中学校学習指導要領解説家庭編(平成29年)、高等学校学習指導要領解説家庭編(平成30年)、テキストの講義該当箇所の予復習															
教科書	文科省 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編 中学校家庭科教科書 文科省 高等学校学習指導要領解説 家庭編 高等学校家庭科教科書																
参考書	S.コウチ、G.フェルステハウセン、P.ホールマン共著 牧野カツコ監訳「スキルズ・フォア・ライフ」家政教育社(2002) 及びアメリカ版の原本と教師用の原本、お茶の水女子大学附属学校家庭科研究会著「作る手が子どもたちを輝かす アクティブラーニングが育てるこれからの家庭科」地域教材社(2017)																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	レポート	50%															
	課題	50%															
注意事項																	
備考	この科目は『地域創生教育科目』です。 実習をとまなう教材研究の場合、自己負担が生じることがある。																
リンク																	
	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の 実務 経験	中学校・高等学校の家庭科教員
実務経験を いかした教 育内容	実際の教育現場における指導経験や専門的知識・技能が、学校教育現場の理解に基づく指導のあり方や指導案等に活かす。